

香川県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会WG概要

資料 2

	開催日時・開催場所	議題	議題ごとの主な意見			まとめ・その他
			荷主	トラック事業者	その他	
第1回	平成29年3月2日 10:00～11:30 香川県 トラック総合会館 4階会議室	1. 香川県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会について	特段の意見無し	特段の意見無し	特段の意見無し	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地に配送しているため、地方単位の取り組みだけだと限界があることから、全国の着荷主へ要請する等、全国で統一した取り組みが必要である旨をWGでの検討結果として地方協議会で報告し、協議会の議事報告として中央に意見を上げる。
		2. 着荷主への要請(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品を扱う運送事業者の労働環境は非常に厳しい。(低温下での作業、大型車の積み降ろしは2～3時間かかる、納品は8～11時まで、他の納品先で待たされる等) 特殊な配送体系なので、どの荷主もどうすれば改善されるのか頭を悩ませている。 ・主要荷主への要請の発送は、全国で行っているのか。長時間労働の原因は県外配送が多いので、県内だけの取り組みだけだと効果が薄いと思う。 ・着荷主への要請案について、表紙を見ただけだと、主要荷主と同じものが来たと思われてしまう。例えば、「主要着荷主各位」にする等、着荷主宛だということを明確にした方がいいと思う。 ・世間的に「荷主」という言葉は発送する側をイメージしている。資料7の「主要荷主各位」を「主要事業者」にする等にして、また改善基準遵守を前面に押し出してもらえれば、と思う。 ・最近、宅配のことについて新聞で取りざたされているが、マスコミというものは非常に効果的。無理な依頼も断りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着荷主に関してのことになると一つ一つ個別案件になってくる。資料7の発送を全国で行ったり、マスコミを利用したりして、広く知ってもらうことが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働は県外配送が多いので、県内の荷主への要請だけだと、県外の運送事業者には効果があるかもしれないが、県内の運送事業者には効果が見込まれない。全国の着荷主に対して全国規模で取り組むことはできないか。 	
		3. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫業界との連携も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部は地方からの配送で車両が集まるので、待ち時間が多い。 ・物流センターは出荷が優先され、荷下ろしは後回しにされるので、待ち時間が長くなる。 ・物流センターに十分な人員が配置されておらず、運転者が作業を行っている。 ・長時間労働の要因は荷主側が大きいと言われていたが、最近は協力的な荷主も増えてきた。大手の荷主はドライバー不足等を理解してくれていることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気や水道のように荷物が運ばれることは当たり前と思われるようになっている。裏では荷主や運送事業者が様々な努力を行っているということを知ってもらうことが重要である。 ・広報誌に記事を載せる等、世間へのPRの面で協力できればと思う。 	